

ホッカンホールディングス決算説明会

証券コード: 5902



2011年12月5日

ホッカンホールディングス株式会社

目次



代表取締役社長 工藤 常史

2012年3月期 第2四半期決算概要

第2四半期決算概要ならびに通期見通し 3

経営成績 — 連結決算実績 4

2012年3月期 今期重点取組事項

2012年3月期 重点取組事項 6

損益分岐点改善による経営品質の向上 7

事業拡大への挑戦 8

取締役 山崎節昌

2012年3月期 第2四半期決算および財務状況詳細

セグメント別概要① 10

セグメント別概要② 11

セグメント別概要③ 12

連結損益計算書 13

連結貸借対照表 14

連結有利子負債の推移 15

連結キャッシュフロー計算書 16

連結決算:2012年3月期見通し 17

連結設備投資 18

【参考】経営成績

要約連結貸借対照表 20

要約連結損益計算書 21

要約連結キャッシュフロー計算書 22

【参考】会社概要

プロフィール 24

経営理念 25

ホッカン・グループ紹介 26

本社と各社工場 27

沿革 28

お問い合わせ先 29

2012年3月期 第2四半期決算概要 及び通期見通し

2012年3月期 第2四半期決算

単位: 百万円、%

	2011年9月期		2010年9月期
		前年同期比 伸び率	
売上高	91,568	1.9	89,866
営業利益	3,847	▲4.9	4,046
経常利益	4,305	▲5.0	4,529
純利益	2,350	19.8	1,962

2012年3月期 業績予想

単位: 百万円、%

	2012年3月期		2011年3月期
	通期見通し	前期比 伸び率	通期実績
売上高	166,000	1.7	163,238
営業利益	4,100	4.0	3,942
経常利益	4,500	0.5	4,477
当期純利益	2,200	47.8	1,488

■ 決算概要

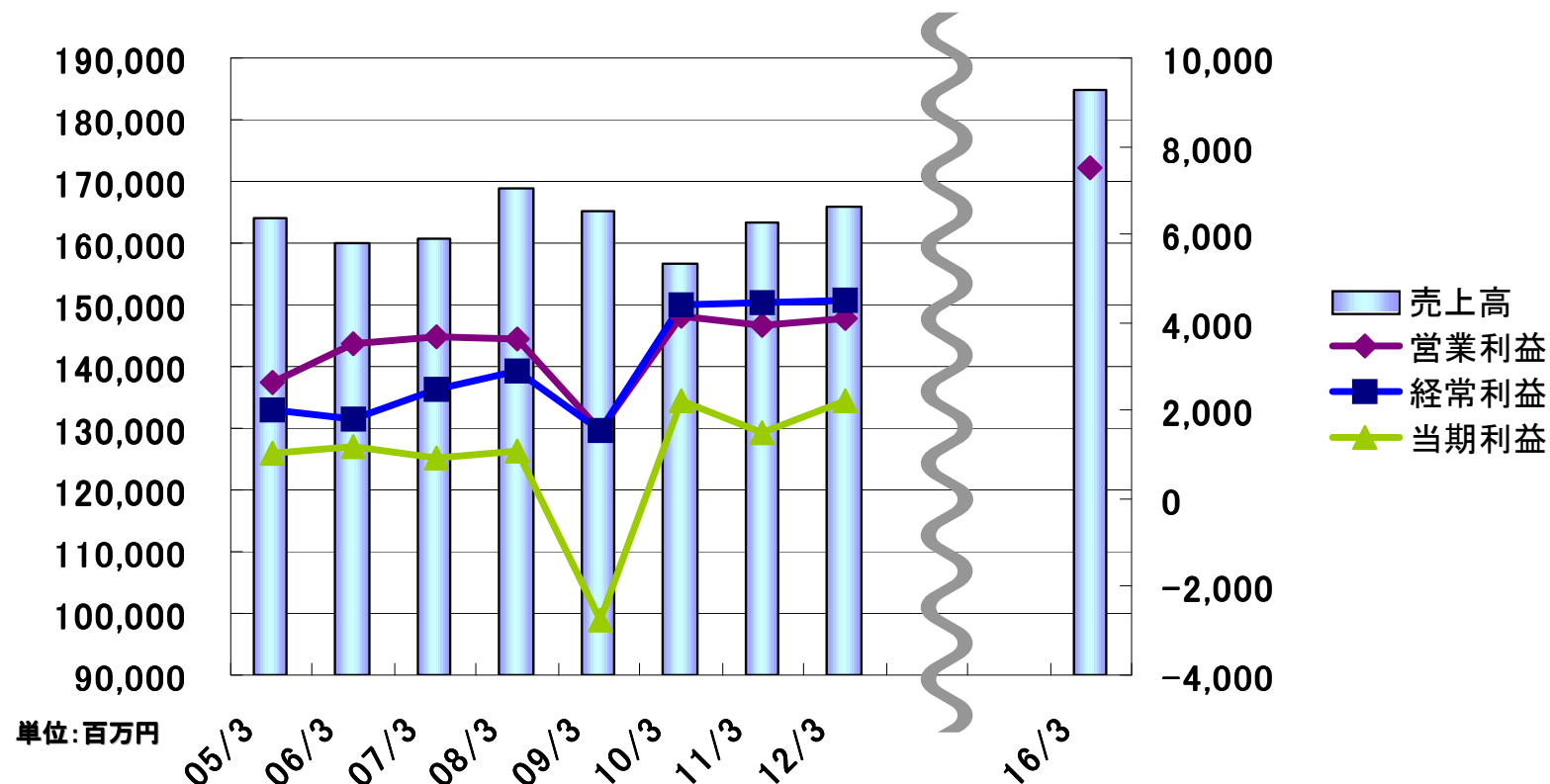
第1四半期は東日本大震災直後の製品不足に対する増産や、7月以降に予定された電力総量規制に起因するお客様からの前倒し生産受注などにより好調なスタートを切ったが、第2四半期は、在庫調整や電力総量規制などの影響もあり経常減益となった。

特別損失が減少となったため、増収増益の結果となった。

■ 通期見通し

8月10日公表の見通しを維持し、純利益は22億円を予想。

経営成績－連結決算実績



単位:百万円

	05/3	06/3	07/3	08/3	09/3	10/3	11/3	12/3
売上高	163,999	160,067	160,892	168,757	165,217	156,794	163,238	166,000
営業利益	2,625	3,502	3,653	3,628	1,527	4,122	3,942	4,100
経常利益	2,028	1,831	2,503	2,893	1,532	4,415	4,477	4,500
当期利益	1,038	1,160	931	1,065	-2,764	2,209	1,488	2,200

※12/3予想値

2012年3月期 重点取組事項

1. 環境変化へのフレキシブルな対応
2. 損益分岐点改善による経営品質の向上
3. 事業拡大のため、新たなる取組みへの挑戦

充填事業 スクラップ&ビルドによる効率化の追求



2006年以降、日本キャンパックでは4本のライン撤去を実行し、最新鋭3本ラインの稼動を開始した。
これにより、お客様からの多様な要望への対応が可能となり、同時に生産性の向上を実現させた。

PTホッカン・インドネシア 2012年5月操業開始予定

急成長を遂げるインドネシア飲料市場に参入すべく開始した本プロジェクト。パートナーである豊田通商様の協力を得ながら、PETボトル製造および飲料充填ラインの2012年5月稼動を目指し、ホッカングループの総力を挙げて工事進行中。



PTホッカン・インドネシア 工場完成イメージ図



基礎工事は完了



工場建屋も建設開始

2012年3月期 第2四半期決算及び 財務状況詳細

セグメント別概要①



スチール缶事業	飲料用スチール缶	主力である缶コーヒー市場の低迷	前年度比マイナス
	農産缶詰	天候不順の影響によるスイートコーン缶市場の不調	前年度比マイナス
	水産缶詰	震災の影響による代替生産を実施	前年度比プラス
	エアゾール缶	家庭用消臭剤の大幅な販売増加 夏場の殺虫剤需要増加	前年度比プラス
	美術缶	厳しい事業環境が続いているが、積極的な営業活動を継続	前年度比プラス
プラスチック事業	飲料用ペットボトル	大震災後のキャップ不足、及び電力総量規制による生産調整により減産	前年度比マイナス
	プリフォーム	積極的な営業活動による好調な受注	前年度比プラス
	食品用プラスチックボトル	醤油、食用油分野での消費低迷	前年度比マイナス
	一般成形品	緊急支援物資である水袋受注増加も 化粧品関連の受注減少	前年度比マイナス

容器事業：売上高 27,243百万円 前年度比－0.3%

セグメント別概要②



充填事業

缶製品	夏場の在庫調整による受注減少	前年度比マイナス
小型ペットボトル	大型ボトルへのシフト、及び夏場の在庫調整	前年度比マイナス
大型ペットボトル	新ライン稼動に伴う麦茶の増産	前年度比プラス

充填事業：売上高 63,470百万円 前年度比 +3.5%

機械製作事業

機械製作部門	金型、液体小袋充填機、その他堅調な受注	前年度比プラス
エンジニアリング部門	グループ内受注、および東日本大震災からの復旧受注	前年度比マイナス

機械製作事業：売上高 854百万円 前年度比 -28.5%

セグメント別概要③



単位: 百万円

		2011年9月期			2010年9月期		
		容器 事業	充填 事業	機械 製作	容器 事業	充填 事業	機械 製作
売上高		33,976	63,470	3,478	33,771	61,350	2,743
	外部顧客向け	27,243	63,470	854	27,320	61,350	1,195
	セグメント間	6,733	0	2,624	6,451	0	1,547
営業利益		992	3,394	177	1,552	2,869	160
	消去	▲707			▲535		
連結		3,847			4,046		

営業利益:

容器事業: 原材料値上げの影響により36.1%減益

充填事業: ペットボトルの販売増加、

及び生産性の向上により18.3%増益

連結損益計算書



単位: 百万円、%

	2011年9月期			2010年9月期	
		百分比	前年同期比 伸び率		百分比
売上高	91,568	100.0	1.9	89,866	100.0
売上原価	81,015	88.5	2.0	79,408	88.4
売上総利益	10,553	11.5	0.9	10,458	11.6
販管費	6,705	7.3	4.6	6,411	7.1
営業利益	3,847	4.2	▲4.9	4,046	4.5
営業外収益	861	0.94	▲0.7	867	1.0
営業外費用	403	0.4	4.9	384	0.4
経常利益	4,305	4.7	▲5.0	4,529	5.0
特別利益	94	0.1	176.5	34	0.0
特別損失	324	0.4	▲73.6	1,227	1.4
税引前利益	4,075	4.4	22.2	3,336	3.7
純利益	2,350	2.6	19.8	1,962	2.2

■売上高

1,702百万円増加

充填事業の増加

■営業利益

199百万円減少

充填事業で増加するも、容器事業での
原材料値上げの影響により減益

■経常利益

224百万円減少

■純利益

388百万円増加

生産設備のスクラップ減少、及び
資産除去債務の過年度償却が
なくなったことにより増益

連結貸借対照表

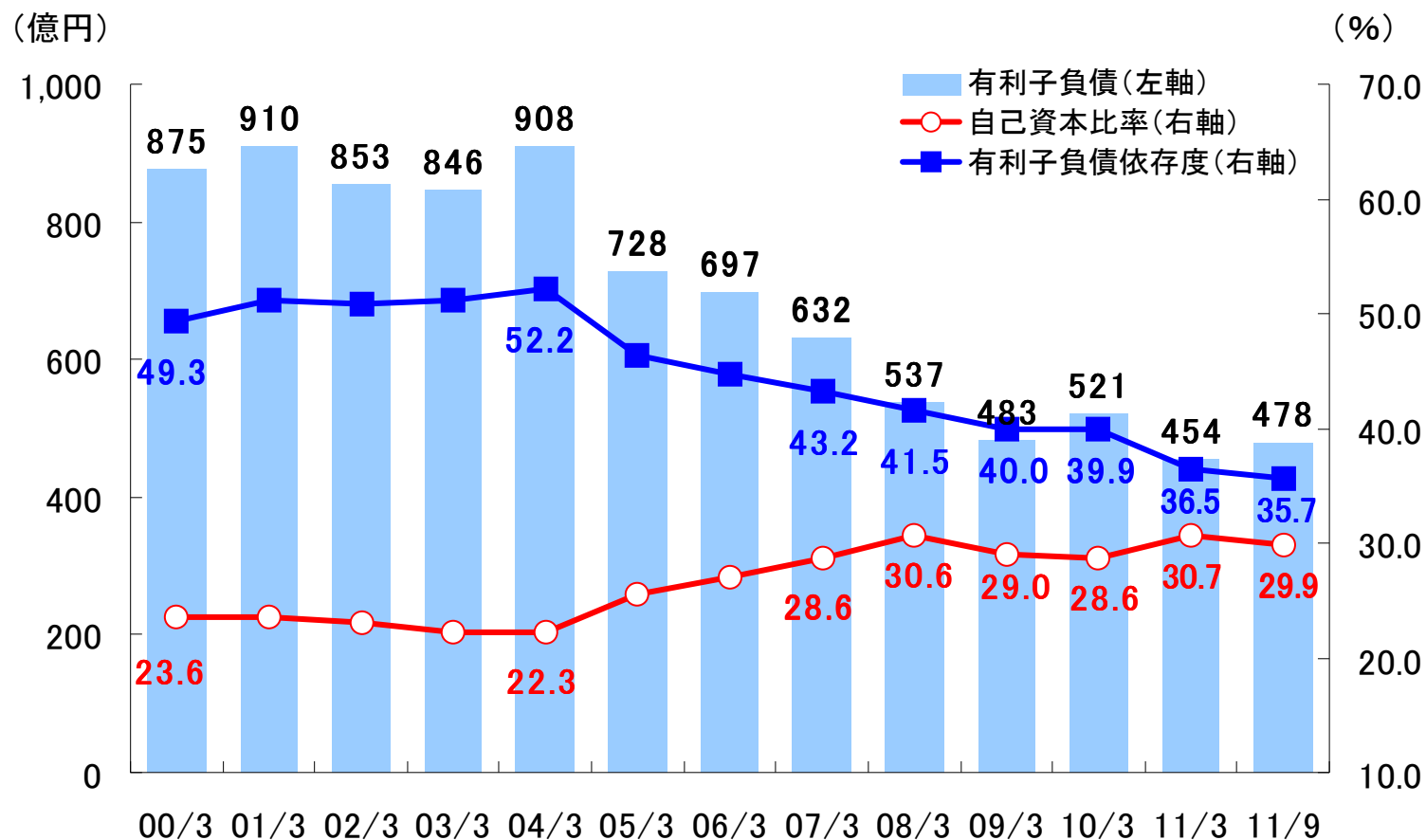


単位: 百万円、%

	2011年9月末		2011年3月末		2010年9月末	
		構成比		構成比		構成比
売上債権	36,419	27.2	27,460	22.1	38,828	29.7
棚卸資産	9,494	7.1	9,105	7.3	7,649	5.8
有形固定資産	62,947	47.0	63,919	51.4	62,329	47.6
総資産	134,041	100.0	124,398	100.0	130,928	100.0
仕入債務	30,658	22.9	27,682	22.3	29,665	22.7
短期借入金	17,905	13.4	13,205	10.6	25,322	19.3
長期借入金	29,911	22.3	32,163	25.9	23,042	17.6
純資産	42,558	31.7	39,371	31.6	39,969	30.5

- 総資産は9,642百万円増加
- 有利子負債は45,368百万円⇒47,816百万円
2,448百万円増加(前年同期比 548百万円減少)
- 自己資本比率は29.9%

連結有利子負債の推移



■ 有利子負債依存度は連結決算開始以来、最低となる35.7%
 自己資本比率は前期末比で0.8%減少し、29.9%

連結キャッシュフロー計算書



単位: 百万円、%

	2011年9月期	2010年9月期	増減額
営業活動によるキャッシュフロー	3,106	8,689	▲5,583
投資活動によるキャッシュフロー	▲6,266	▲5,016	▲1,250
財務活動によるキャッシュフロー	3,275	▲4,103	7,378
現金及び現金同等物に係わる換算差額	▲332	—	▲332
現金及び現金同等物の期末残高	▲217	▲429	212
現金及び現金同等物の期末残高	3,751	1,370	2,381

- 営業活動によるキャッシュフローは 5,583百万円減少
- 投資活動によるキャッシュフローは1,250百万円減少
- 財務活動によるキャッシュフローは7,378百万円増加
- 現金及び現金同等物に係わる換算差額は332百万円減少
- この結果、手元キャッシュは 2,381百万円増加

連結決算:2012年3月期見通し



単位:百万円、%

	2012年3月期			2011年3月期	
	上期実績	通期見通し	前期比	上期実績	通期実績
売上高	91,568	166,000	1.7	89,866	163,238
営業利益	3,847	4,100	4.0	4,046	3,942
経常利益	4,305	4,500	0.5	4,529	4,477
当期純利益	2,350	2,200	47.8	1,962	1,488

- 売上高は1.7%増の1,660億円を見込む。
経常利益は連結決算が始まって以来、過去最高の4,500百万円とし、当期純利益は2,200百万円を予測。
売上げ、並びに利益数値については8月10日公表数値を維持。

連結設備投資



単位: 億円

97	2008/03 実績	2009/03 実績	2010/03 実績	2011/03 実績	2012/03 計画
設備投資額	40	45	141	90	137
減価償却費	87	79	74	90	93

2011年3月期実績

- 容器事業: プラスチック製品製造設備更新等 27億円
- 充填事業: 大型ペットボトル用ライン更新等 63億円

2012年3月期予想

- 容器事業: 製缶関連設備 55億円
- 充填事業: ペットボトル充填関連設備 42億円
- 海外事業: インドネシア建物、生産設備等 40億円

[参考] 経営成績

要約連結貸借対照表



単位：百万円、%

	2011年3月期		2010年3月期		2009年3月期	
		構成比		構成比		構成比
流動資産	43,710	35.1	49,267	37.7	45,328	37.6
預金・現金	3,968	3.2	1,800	1.4	2,791	2.3
売上債権	27,460	22.1	35,962	27.5	29,989	24.9
棚卸資産	9,105	7.3	7,802	6.0	8,624	7.1
固定資産	80,687	64.9	81,552	62.3	75,335	62.4
有形固定資産	63,919	51.4	65,143	49.8	59,386	49.2
総資産	124,398	100.0	130,820	100.0	120,663	100.0
流動負債	49,084	39.5	66,733	51.0	61,487	51.0
仕入債権	27,682	22.3	30,482	23.3	28,481	23.6
短期借入金	13,205	10.6	29,963	22.9	28,785	23.9
固定負債	35,942	28.9	25,652	19.6	23,204	19.2
長期借入金	32,163	25.9	22,169	16.9	19,479	16.1
負債合計	85,026	68.3	92,386	70.6	84,691	70.2
純資産	39,371	31.6	38,433	29.4	35,972	29.8

要約連結損益計算書



単位: 百万円、%

	2011年3月期		2010年3月期		2009年3月期	
		前期比		前期比		前期比
売上高	163,238	4.1	156,794	▲5.0	165,127	▲2.2
売上原価	147,104	4.6	140,643	▲7.2	151,497	▲0.8
売上総利益	16,134	▲0.1	16,151	18.5	13,630	▲14.6
販管費	12,192	1.4	12,029	▲0.6	12,103	▲1.9
営業利益	3,942	▲4.4	4,122	169.9	1,527	▲57.9
営業外収益	1,273	5.0	1,212	15.6	1,048	29.1
営業外費用	738	▲19.7	919	▲11.9	1,043	▲32.6
経常利益	4,477	1.4	4,415	188.2	1,532	▲47.0
特別利益	36	350	8	60.0	5	▲98.2
特別損失	2,030	85.9	1,092	▲74.9	4,351	1369.9
税引前利益	2,482	▲25.5	3,331	—	▲2,813	—
純利益	1,488	▲32.6	2,209	—	▲2,764	—

要約連結キャッシュフロー計算書



単位: 百万円、%

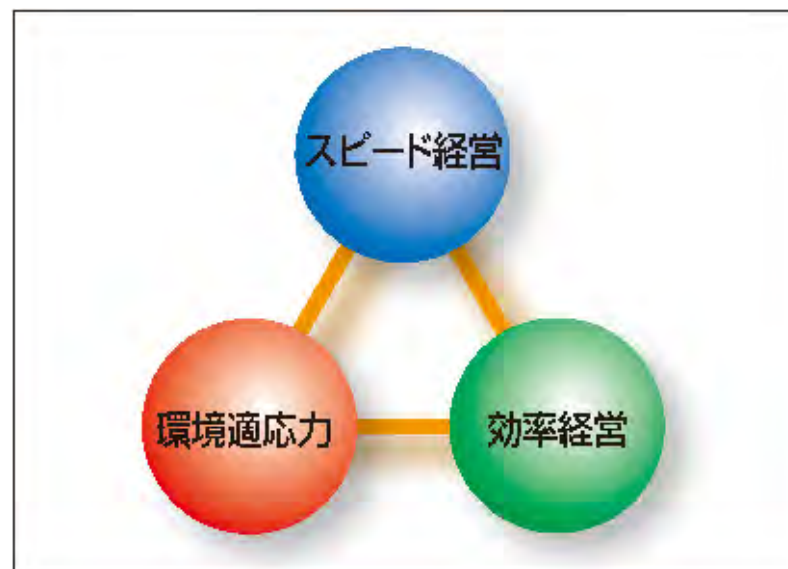
	2011年3月期	2010年3月期	2009年3月期
営業活動によるキャッシュフロー	18,451	7,497	10,018
税引前当期純利益	2,482	3,331	▲ 2,813
減価償却費	8,992	7,493	8,000
支払利息	636	719	836
有形固定資産除売却損益	671	930	170
売上債権の増減額	8,635	▲5,941	742
棚卸資産の増減額	▲1,302	798	328
仕入債務の増減額	▲1,765	▲470	2,311
投資活動によるキャッシュフロー	▲8,830	▲11,744	▲ 5,288
有形固定資産の取得による支出	▲8,352	▲11,269	▲ 4,916
有形固定資産の売却による収入	83	121	17
財務活動によるキャッシュフロー	▲7,453	3,256	▲ 6,003
短期借入金の純増減額	▲16,622	1,104	2,449
長期借入金の純増減額	9,858	2,764	▲ 7,921
現金及び現金同等物の増減額	2,167	▲990	▲ 1,110
現金及び現金同等物の期末残高	3,968	1,800	2,791

[参考] 会社概要

商号	ホッカンホールディングス株式会社 HOKKAN HOLDINGS LIMITED
代表取締役社長	工藤 常史
創業年月日	大正10年10月23日
資本金	110億86百万円
事業概要	(1) 容器事業 (2) 充填事業 (3) 機械製作事業 (4) その他
株式	東証一部・札証（証券コード:5902）
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目2番2号

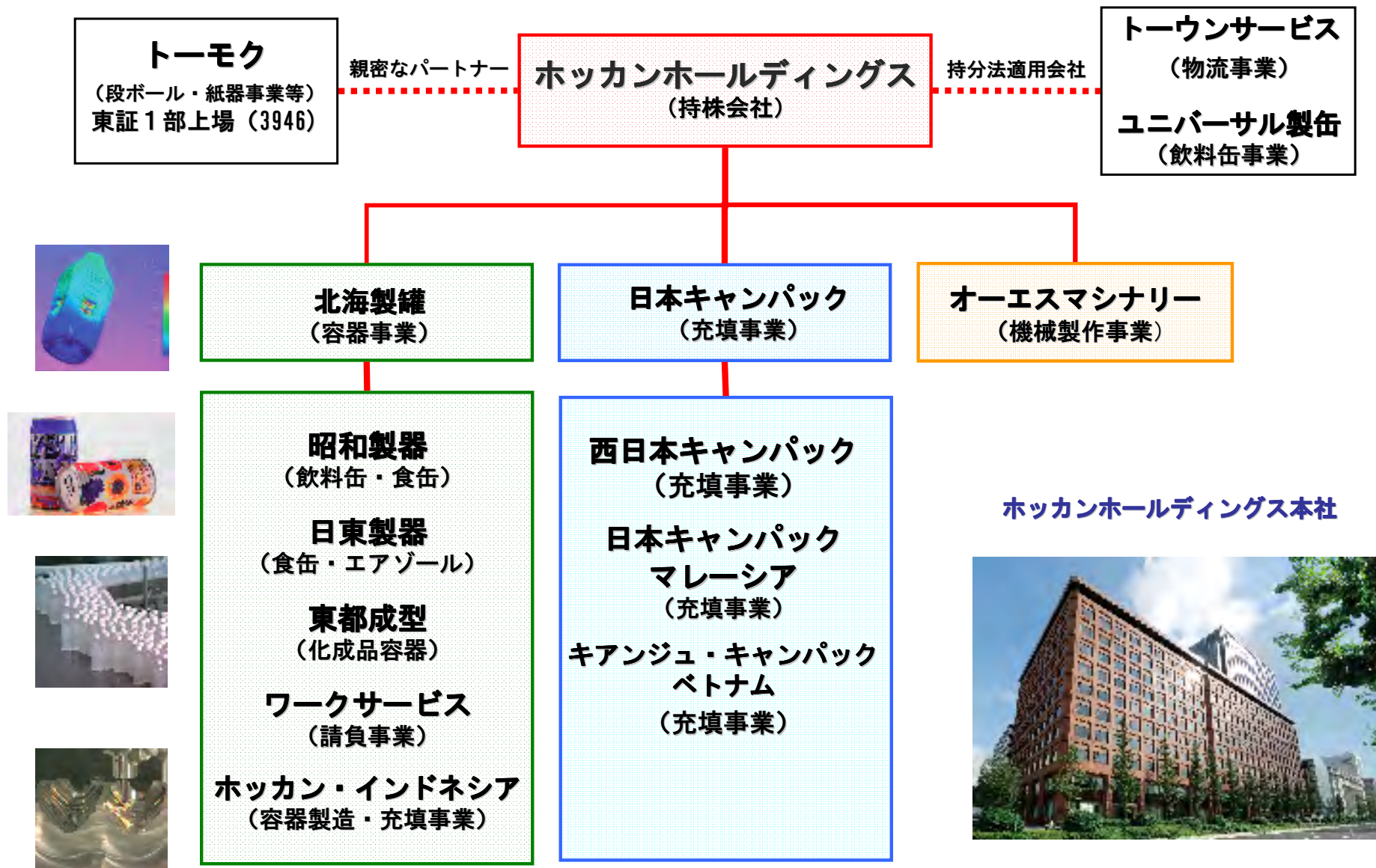


昭和20年代の北海製罐
製造の金属缶



1. 容器・充填・機械製作を通じて社会・文化に貢献する事をグループのアイデンティティとしかつ、スピード感に溢れ、透明性の高い連邦型経営を押し進める事によりグループ企業価値・株主価値の最大化を図る。
2. 品質本位に最善の努力を行い、最高の商品を提供する企業グループとして特長ある技術・ビジネスモデル等の開発に努め、かつ、地球環境を大切とし広く社会・経済の発展に寄与する。

ホッカン・グループ紹介



本社と各社工場



● ホッカンホールディングス 東京都

● 北海製罐

北海道	小樽工場（昭和製器）
群馬県	明和工場（日東製器）
	千代田工場
	館林事業所
	東都成型
埼玉県	岩槻工場
	中央研究所
滋賀県	滋賀事業所
インドネシア	ホッカン・インドネシア

● 日本キャンパック

群馬県	第一工場
	第二工場
	赤城工場
	利根川工場
岐阜県	西日本キャンパック
マレーシア	日本キャンパック・マレーシア
ベトナム	キアンジュ・キャンパック
	ベトナム

● オーエスマシナリー

北海道	小樽工場
群馬県	群馬工場



日本キャンパック 利根川工場



OSマシナリー 群馬工場



北海製罐 岩槻工場

沿 革



- 1921年 北海製罐倉庫(株)創立 資本金100万円、本社小樽
- 1941年 製缶業者8社大合同により新たに東洋製罐(株)設立(旧北海製罐倉庫(株)は小樽工場となる)
- 1948年 過度の経済力集中排除法に基づき、経済力集中企業に指定される
- 1950年 企業再建整備計画により小樽工場およびその付属設備を分離し北海製罐(株)を設立 資本金5,000万円、本社は東京に設立 東京証券取引所に上場
小樽電解工業(株) 設立 (現昭和製器(株))
- 1954年 東都成型(株) 設立
- 1960年 日東製器(株) 設立
- 1971年 北海製罐 岩槻工場竣工
- 1973年 (株)日本キャンパック 設立、翌年第1工場竣工
- 1974年 (株)小樽製作所 設立(現オーエスマシナリー(株))
- 1985年 (株)ワークサービス 設立
- 1988年 日本たばこ産業(株)と共同出資にて飲料充填会社である(株)ジェイティキャニングを設立
(2002年に連結子会社とし、社名を(株)西日本キャンパックへ変更)
- 1989年 北海製罐 千代田工場竣工
日本キャンパック 第2工場竣工
- 1997年 日本キャンパック 赤城工場竣工
日本キャンパック マレーシア設立
- 2005年 会社分割による純粋持株会社へ移行
三菱マテリアル(株)と共同で飲料用アルミ缶製造・販売会社であるユニバーサル製缶(株)設立
- 2006年 日本キャンパック 利根川工場竣工
- 2007年 日本キャンパック 利根川工場第2ライン竣工
- 2008年 キアンジュ・キャンパック ベトナム設立
- 2011年 PT.ホッカンインドネシア 設立



昭和30年代の北海製罐
函館工場と北洋漁業風景

注意事項



当資料に記載された内容は、2011年12月現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した経営計画に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。また、業績見通し等の数値はその正確性を保証するものではありません。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身でなされるようお願い致します。

お問合せ先:

ホッカンホールディングス株式会社

取締役 山崎 節昌

TEL: 03-3213-5111